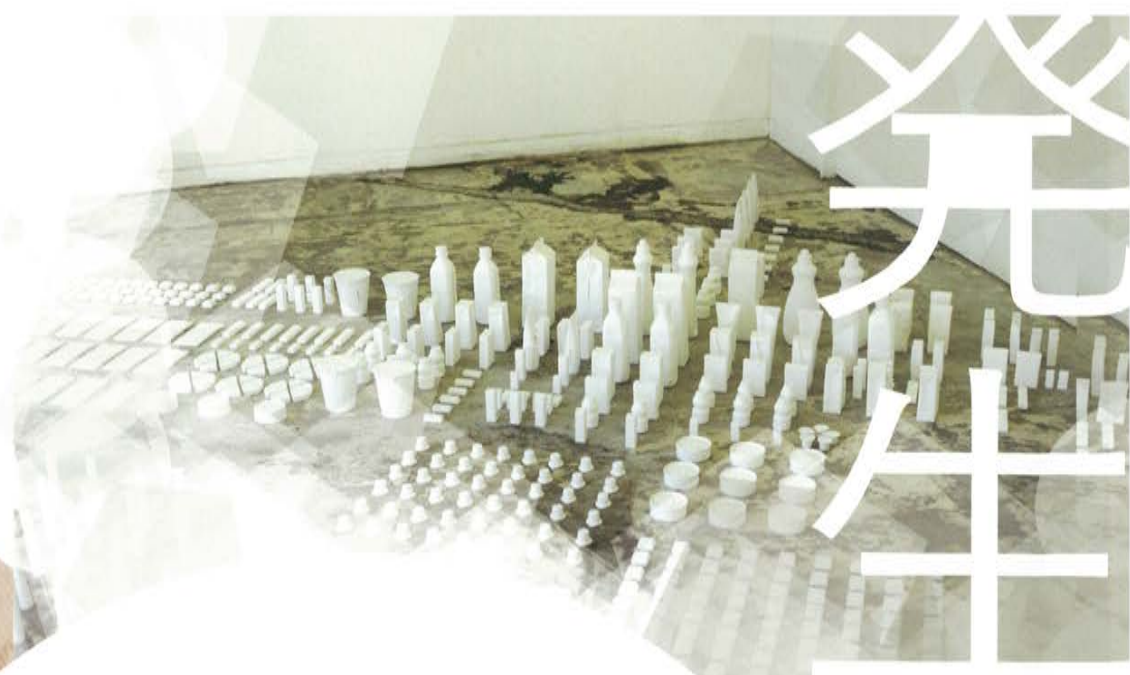


発
生



芸術で地域を拓き、
芸術で世界を拓く。

2018
2.2_{FRY} - 12_{MON}

GUEST ARTIST
元木孝美

ArtistTalk 元木孝美「自作を語る」

WorkShop 好きなものなんですか？

Exhibition バスリアルⅡ

入場無料 | 佐賀大学ミクストメディア室
漆の家 佐賀市伊勢町5-7
アート葉隠 佐賀市与賀町1342



場

発生²⁰¹⁸の場

2.2^{FRY} - 12^{MON} CLOSED: 2/3, 4

主催：佐賀大学芸術地域デザイン学部

お問合せ：芸術地域デザイン学部総務 0952-28-8349 (平日 10:00 - 18:00)

「芸術で地域を拓き、芸術で世界を拓く。」を標榜する本学部は、本学部が目指す「地域創生」の一環として、現代における芸術表現の可能性および、芸術の新しい楽しみ方を紹介するイベント「発生²⁰¹⁸の場」を開催します。

本企画は、彫刻によって喚起される空間をテーマに、想像や郷愁といった、エモーショナルな感情に触れる試みを多様な手法・素材で展開する彫刻家の元木孝美氏を招きトークショーとワークショップ、そして元木氏をゲストアーティストに迎え、本学部ミクストメディア専攻生のプロデュースによる現代美術展「バスリアルII」展、3つのプログラムにより構成されます。

「地域活性化」と「地域創生」、言葉は似ていますがその目的も意義も異なります。顧客への価値を長期的に向上させ、その地域へのお金の流入を増やす事を目的とする地域活性化。対して、その地域の特徴を活かし自律的で持続的な社会の創生を目的とするのが地方創生と言われています。現代美術が「地域活性化」のシーズとして着目されるようになった近年、現代美術への注目は美術・建築・デザイン領域の枠を越え、さまざまな領域や場面で、その重要性は広がりを見せています。しかしそれは美術を利用する側の論理であり、それに伴う様々な弊害が現れているのも事実です。地域や社会に貢献することを「目的」とするようなアートとは地域や社会のプロバガンダとも言えます。勿論、結果的に

それらに貢献したとしたら、それはそれで素晴らしいことです。けれど、結果としての現象は同じでも、それを目的とするのと、たまたま結果としてそうなるのとは意味・意義は全く異なります。社会的貢献自体を目的とした瞬間に芸術表現の自律性は失われます。それはもはや「アート」ではなく「アート風」なナニモノかです。

このような葛藤を伴う問題に、現場の前線で戦うアーティストはどのように対峙しているのでしょうか。前線のアートとは何を問題としているのでしょうか。現代日本においてアートが地域と共に在ることの可能性とは一体何処にあるのでしょうか。それは、地域性に拘束されない力のある現代美術を、あたりまえの素晴らしい現代美術を、つまらない地域性やせせこましい社会性に囚われずに愚直に追求していくこと[※]に立ち返ること。身も蓋もないかもしれませんが、芸術に対するそんな真摯な姿勢なのではないのでしょうか。なぜなら、地域や社会に貢献することをわざわざ「目的」としなくても、そもそもあたりまえの素晴らしい現代美術は既にその力を備えているのだから。

(佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授 土屋貴哉)

※アーティスト中崎透氏とキュレーター遠藤水城氏が、2007年に地方都市の茨城県水戸に設立したオルタナティブスペースの活動理念。水戸市の人口は佐賀市と同等。

2018 GUEST ARTIST

MOTOKI TAKAMI
元木孝美



1975年神奈川県生まれ。2003年東北芸術工科大学大学院修士、2014年-同大学非常勤講師。2016年アーティストインレジデンス(53美術館/中国・広州)。近年の展示として、2017年中之条ビエンナーレ(中之条/群馬)、アゲンスト平和の彫刻(NADiff/東京)、between the space (the white/東京)、2016年gravity(藍画廊/東京)、roundabout(トキ・アートスペース/東京)、2014年遠近景(メタルアートミュージアム光の谷/千葉)など。

プログラム | 予約・お問合せ先：0952-28-8349 (本学部総務)

ArtistTalk アーティストトーク 元木孝美「自作を語る」

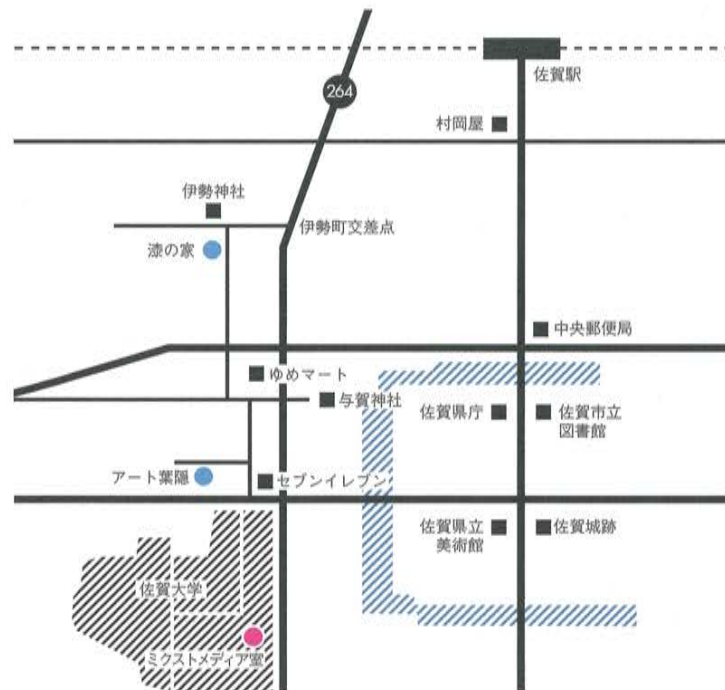
90年代末のデビューから現在に至る自作とその変遷について。
会場：佐賀大学 芸術地域デザイン学部 2号棟 ミクストメディア室
佐賀県佐賀市本庄町1
日程：2018年2月2日 13:30 - 15:30
定員：40名 (無料)

WorkShop ワークショップ 好きなものなんですか？

自分の好きな物(事・記憶・出来事なども含む)を全方位から羅列して、自分を構成している要素を暴き出す。リアリティーを伴ったアイデアの源泉とはどこにあるのかを探るワークショップ。
会場：佐賀大学 芸術地域デザイン学部 2号棟 ミクストメディア室
日程：2018年2月2日 16:00 - 18:00
定員：20名 (無料)

Exhibition 展覧会 バスリアルII

ミクストメディア専攻生を中心とした学生有志による実験的美術展。ゲストアーティストに元木孝美氏招聘。市内3会場で同時開催。
期間：2018年2月5日 - 12日 12:00 - 17:00 / 入場無料
レセプション 5日 18:00 - 20:00 (佐賀大学ミクストメディア室)
会場：佐賀大学芸術地域デザイン学部 2号棟 ミクストメディア室
漆の家 佐賀市伊勢町 5-7
アート葉隠 佐賀市与賀町 1342



Access アクセス

佐賀大学 芸術地域デザイン学部 2号棟 ミクストメディア室
JR 佐賀駅から徒歩約40分/車約15分(駐車場有料)
最寄バス停：佐賀大学前(11番) 佐賀大学西与賀線
漆の家
佐賀大学(本庄)から徒歩約12分/JR佐賀駅から徒歩約30分/車約10分(駐車場無)
アート葉隠
佐賀大学(本庄)から徒歩約3分/最寄バス停：佐賀大学前(11番) 佐賀大学西与賀線